● １２月１８日　国際会議 LSBE2019 in kyoto で蓮田先生と大学院 田山が研究成果を講演しました。

● ２月５日　発明工夫コンテストの取材が有りました。

下野新聞　2020年（令和2年）2月11日（火曜日）

宇都宮 帝京大蓮田研究室

発明コン5年連続最高賞

地震の際、商品落下防ぐ

【宇都宮】帝京大理工学部情報電子工学科の蓮田裕一教授の研究室が、日本産業技術教育学会の「発明・工夫作品コンテスト」発明工夫部門で、最高賞の学会長賞を5年連続で受賞した。大きな地震の際にコンビニの棚に並ぶ商品を守るため、緊急地震速報を検知して落下防止バーを作動させる装置を開発。受賞メンバーは「人の生活を支えるシステム。評価されてうれしい」と喜んだ。（田井伎）

同学会によると、本年度、遠藤昇太さん（21）、3年高橋大地さん（21）、飯田雅裕さん（21）。のコンテストには全国の大学から5部門に計98件の応募があった。同部門には8件集まり、審査結果は3日に発表された。

受賞したのは同学科4年

装置には、緊急地震速報の音を検知する部品を組み込んだ。速報を受信するとスピーカーから「地震が来ます。棚から手を離してください」と音声が流れ、発光ダイオード（LED）を点灯させて周囲に注意を呼び掛ける。モーター駆動でストッパーが外れ、棚の正面にバーが降りる仕組み。

本震が来る前に自動で動き、酒瓶などの落下を防ぐ。手動スイッチでも作動し、本震が早く到達する震源近くの地域でも活用できる。製作費は約1万円で、市販の材料を使っているという。

東日本大震災のような大規模地震の際、各地のコン

５連覇達成　ご苦労様でした